

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

No.604

竹の子会総務委員会

令和2年3月12日

例会（新年互礼会）

日時：令和2年1月22日（水） 場所：四鳥



総務委員会
委員長
村林 壮太

第64期大垣竹の子会の令和2年最初の事業であります「新年互礼会」が、1月22日（水）に料亭四鳥にて行われました。会員各位のご協力のもと、滞りなく事業を進め、終える事ができました。まずはお礼申し上げます。

当日は、特別会員26名、現役会員23名の総勢49名の方に参加いただき、事業を盛況に行う事ができました。会では、新年の挨拶をかわすとともに、来期の常任予定者、大垣市青年のつどい協議会出向者紹介の中では、各予定者から来期に向けての熱い思いを述べていただきました。現役会員が特別会員の先輩方と膝を突き合わせてお酒を飲み、お話ができる数少ない機会であり、今年の席におきましても、貴重なご指導、ご鞭撻を受ける様子がうかがえました。恒例行事として定着している事業ではありますが、先輩方に接するだけに、現役会員にとっては緊張の思いがする場があります。いい意味で緊張感を持ちなが

ら現役会員は、先輩方との交流を深め、各々が成長できた大変有意義な会になったのではないのでしょうか。

そんな中、率先して補助をしている新入会員が、とても素晴らしいと思いました。先輩方との交流の合間に自然と動く姿は、とても頼もしく思います。昨今は、昔と比べると会員数が減ってしまったとよく聞きます。厳しい事もありますが、今まで以上に力を合わせ、皆で盛り上げていく大垣竹の子会はまだまだ成長中です。特別会員の皆様から見ると、我々はまだまだ至らないところもあるかとは思いますが、一丸となって日々成長していく大垣竹の子会をこれからも応援していただけたらと思います。

今回は、元号も令和になって初となる新年互礼会でした。もちろん今期もまだまだ重要な事業も残っておりますが、令和の時代も充実した会になりますよう、会員全員で盛り上げていきましょう。



第65期 会長予定者あいさつ



第65期
会長予定者
今西 勇人

皆様こんにちは。このたび、第65期大垣竹の子会会長予定者に選任されました、第60期入会の今西勇人です。65年という長きにわたり諸先輩方が築き上げ、継承されてきた伝統と歴史、そして竹の子魂を引き継ぐという事は大変光栄であるとともに、改めて責任の重大さを痛感し身の引き締まる思いで一杯です。

入会して早5年が経ち、この大垣竹の子会でさまざまな事を経験し、多くの事を学ばさせていただきました。会の基本目標であります、「人間形成への修練」、「地域社会への奉仕」、「会員相互の親睦」に基き、一つ一つの例会や事業を通し参加するたびに新たな発見があり、大垣竹の子会の良さを実感するばかりです。特に自分自身が委員長など大きな役割を与えられた時には、当然大変なのはもちろんの事、上手くいかない事、辛く苦しい事などもありました。しかしそれ以上に周りのサポートや、困った時に必ず助けてくれる仲間がいる事が何よりも代えがたい財産だと学びました。この事は教科書には載ってませんし、誰かが教えてくれる訳でもありません。自

分で感じて実践し、学ぶ事で大きく成長出来るのだと思います。周りの人たちが何かをしてくれるのではなく、自分自身が周りの人たちに何ができるかを考えていく。そんな人間味溢れるこの会の魅力を自分なりに後輩たちに伝えていきたいと思います。

さて、来期は65周年という節目の年になります。世の中はめまぐるしく変化し、多様な社会となっておりますが、大垣竹の子会においては、会員減少という課題の解決の糸口がなかなか見つかっておりません。しかし、今まで培ってきた大垣竹の子会の経験と団結力、そして竹の子パワーを使い、地域活性化の力に微力ながら貢献出来るよう来期事業を計画しております。

64期も残り5か月でございます。川上会長の期を盛大に盛り上げていけるよう会員全員で全力でサポートし、良い形で来期に繋がる活動をしていきたいと思ひます。

最後になりますが、この素晴らしい好機を与えて下さいました全ての皆様に感謝するとともに、この機会を最大限に活かし、さらなる大垣竹の子会の発展と成長に貢献出来るよう邁進していくことを約束して私の挨拶とさせていただきます。

第65期 事務局長予定者あいさつ



第65期
事務局長予定者
近藤 優介

皆様、こんにちは。このたび、第65期事務局長を務めさせていただくことになりました、第60期入会の近藤優介です。今西会長予定者からお話をいただいた際、大変光栄であるとともに身の引き締まる思いがしました。そして、それ以上に私を選任してくれたことが大変嬉しかったです。といひますのも、私は今西会長予定者と同期入会で、これまでともに過ごす中で予定者の卓越した人間性に心惹かれるものがあり、「今西君に会長を務める好機が巡ってきたあかつきには、自分は事務局長でありたい」という願ひがあったからです。さまざまな縁、巡り

合わせに感謝しています。

さて、来期は大垣竹の子会65周年の節目、記念期となります。当会が情勢の変化に面し、過渡期を迎える中での記念期です。これまでの先輩方が築いた伝統と魂を継承しながらも、時代に合った会の運営を模索する大切な時期だと考えています。事務局長として微力ながら会の運営のあり方を思案することはもちろん、今西会長予定者の熱い思いを大場・棚橋両副会長とともに支え、大垣竹の子会を盛り上げていきたいと存じます。

まだまだ勉強不足で至らない点多々あるかと存じますが、これからも皆様にご指導、ご協力いただきながら、全力で精進する所存でございますので、何卒よろしくお願ひいたします。

第65期 副会長予定者あいさつ



第65期
副会長予定者
大場 隆伊

この度、第65期副会長予定者としてご承認をいただきました、第61期入会の大場隆伊です。入会してまだ期も浅い私が、伝統ある大垣竹の子会の第65期という節目の年に、副会長という大役を務めさせていただくこととなり、身に余る光栄に感じております。このような機会を与えて下さった今西会長予定者、会員の皆様、当会を築

き上げ、これまでの長きに渡り伝統を紡いで下さったOBの皆様に変感謝しております。ありがとうございます。

入会して4年が経ち、これまでにたくさんの先輩方に助けられながら、副委員長、委員長を経験させていただきました。現在、当会は会員減少に伴い一人ひとりの負担が大きくなってきています。家庭や仕事においてもさまざまな変化があり、多忙な年代であると思います。そんな中、委員長、副委員長を

引き受けていただいた皆様には心から感謝しております。これまで私が、たくさんの先輩方に助けていただいたように、委員長、副委員長、皆様のサポート役として一生懸命取り組んで参りたいと思います。

今西会長予定者とは、海外をともに旅した高校時代の同級生で、古くからの友人です。そして、大垣竹の子会への入会をお誘いいただき、おかげでたくさんの友人ができました。今西会長予定者は、人とは違ったさまざまな経験の持ち主です。持ち前の人望、本番での勝負強さ、これまでの経験を生かし、大暴れしていただけるよう、全力でバックアップして参りたいと思います。

そして、私は残り2年と言う短い在籍期間しかありません。現役会員全員で65期を盛り上げ、諸先輩から受け継いだバトンを66期以降の未来の会員に繋ぎ、永遠に続く大垣竹の子会であって欲しいと思います。最後になりましたが、皆様方のご指導、ご支援よろしくお願い致します。



第65期
副会長予定者
棚橋 建太

第62期入会の棚橋建太です。このたび、第65期副会長予定者として、ご承認いただきまして誠にありがとうございます。最初、今西会長予定者から、お話をいただいた時、非常に光栄に思う反面、私にこの大役が務まるのかと引き受ける事にプレッシャーを感じ、躊躇いたしました。しかし、「頼まれ事は試された事」「今西会長予定者を全力で支えたい」という思いで引き受けさせて

いただきました。

今西会長予定者と私は、今期の副会長、渉外委員長という立場でした。一年間を通して、私は自由に活動させていただきましたし、今西会長予定者に最大限支えていただきました。本当に感謝の気持ちしかありません。今期は、このご恩を返していく番だ

と思っております。また、大場副会長予定者、近藤事務局長予定者と連携し、各委員長や委員会メンバーをサポートしていきたいと思っております。副会長となることは、今まで以上にいろいろな人から見られる立場になってくるということです。自分の発言や行動に責任を持ち、大垣竹の子会を盛り上げる存在になっていきたいです。

社会情勢の目まぐるしい変化、会員の減少など、青年団体の意義も以前とは変化していると思っております。ただ、今の時代しか経験できないこともたくさんあるとも思っております。この20代、30代で仲間が多くできることは、一生の財産になっていくと思っております。一瞬一瞬を大切にしながら、活動に邁進いたします。

最後になりますが、まだまだ未熟な若輩ものですが、一生懸命頑張っていきますので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

お誕生 おめでとうございました。

村林 壮太君に
長女 世菜(せな)ちゃんが生まれました。

令和2年2月8日

第49期 大垣市青年のつどい協議会 副会長予定者あいさつ



第49期 つどい協議会
副会長予定者
市川 崇史

大垣竹の子会の皆様、いつもお世話になっております。4月より第49期大垣市青年のつどい協議会の副会長として出向し、第36回水門側万灯流しおよび十万石ふるさとまつりの実行委員長を務めさせていただきます、第61期入会の市川崇史です。

私は大垣竹の子会に入会して4年間活動してきました。その中で、いろいろな経験をさせていただき、多くのことを学ばせていただきました。多くのことを学ばせていただいたとはいえ、お話をいただいたとき、私につどいの副会長が務まるかと考えると不安でした。今期、私が万灯部会長を1年間務めさせていただいた際、加盟団体の皆様、そして大垣竹の子会の皆様の多大なるお力添えを賜りました。そして、言葉で表すことができないほどの大変貴重な経験や仲間の素晴らしさ、ありがたさを実感させていただきました。このような経緯もあり、今西会長予定者からお話をいただいた時には、二つ返事で受けさせていただきました。先輩方が作り上げてきた、この歴史と伝統ある大垣市青年のつどい協議会の副会長を務めさせて頂くことを光栄に思うとともに身の引き締まる思いであります。

今期で49期を迎える大垣市青年のつどい協議会は6つの所属団体でスタートします。所属いただいている各団体は、それぞれの目的を持ち、地元のため、そしてそこに住まう人のため活動を行っています。地元で団体の枠を超えて同じ志をもった仲間たちが集える場所というのは、この大垣市

青年のつどい協議会であり、他団体の方と交流ができる場であり、意見を交わし合える貴重な場であると私は思っています。そんな場に出向できる経験をさせていただけるという事を大変ありがたく思います。

今期の万灯流しでは、前期万灯部会長での経験を生かし、水の都大垣の象徴ともいえる水門川において万灯流しを通じて大垣の夏を彩り、大垣の水やふるさとの素晴らしさを市民や次代を担う子供たちに改めて実感していただけるような事業になるよう挑戦してまいります。

また、十万石ふるさとまつりでは、加盟団体減少の逆境の中、事業を通して相互協力と交流を深め、今一度つどい協議会の絆を再確認するとともに、地域住民に存在意義を主張できるような事業になるよう挑戦してまいります。

最後に、私はまだまだ勉強不足な点多々ございますが、大垣竹の子会を代表して出向させていただきますので、責任感を持って一生懸命、今年一年間頑張りたいと思います。どうぞ皆様ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



3 4月の予定

3月度例会(合同例会)

日 時：令和2年3月21日(土)
場 所：青年の家 講堂

4月度例会(奉仕例会)

日 時：令和2年4月5日(日)
場 所：大垣公園～奥の細道むすびの地記念館

交通遺児チャリティーゴルフ大会

日 時：令和2年4月9日(木)
場 所：大垣カントリー倶楽部